

明德義塾中学校・高等学校

新シリーズ：「International Boarding School」で学ぶ 第4回

トライリンガルな生徒たち

広報入試部長 高橋 聖

明德義塾にはトライリンガルな生徒たちが学んでいます。今回はそのような3つの言語を操る生徒たちを紹介したいと思います。

第2 言語としての英語・中国語・日本語教育

さて、我が校の英語・中国語コースは、日本語を母語とする生徒を対象とし、高度な英語、そして中国語を第2言語として確実に習得させることを目的としてスタートさせたコースです。

そのため、両コースとも姉妹校への1年間留学や、授業にネイティブ教員による「ダイレクト・メソッド」を採用するなど、日本語と英語、日本語と中国語のバイリンガルを育てる事をコースの特色として位置づけてきました。

また、日本語コースでは日本語を母語としない留学生に対し第2言語としての日本語を教育して来ました。

当初、日本語コースに在籍する生徒は韓国、中国、モンゴルなど限られた国からの留学生で占められ、また英語・中国語コースは全員日本人の学生で構成されていました。

すなわち、日本語・中国語・韓国語・モンゴル語などを母語としたモノリンガルな状態の生徒に対し高度な英語・中国語・日本語を第2言語として教育すると言ったスタンスで取り組んできたと言えるでしょう。

第3 言語としての日本語・英語教育

さて、我が校の言語教育に関する取組が国内外に知られるに従い、当初は想定していなかった多様な言語背景を持つ生徒達が明德義塾の門をたたくようになりました。そしてその様な生徒の中からトライリンガルな生徒が誕生することとなります。

インドネシア語・英語・日本語のトライリンガル誕生

明德義塾ではここ4年間で4名のインドネシア語・英語・日本語のトライリンガルが誕生しています。その内の3名はインドネシア語が母語で、1名は日本語が母語の生徒です。インドネシア語が母語の生徒は母国ではインター校に在籍するか英語の特別指導を受けており我が校に入学した段階では既に母語としてのインドネシア語と高度な英語力を保持していました。そのため入学後は日本語コースに在籍し日本語の獲得に努めるとともに英語の力を更に確実なものとする為に、各種英語検定試験に向けた指導を受けています。

その結果、母語のインドネシア語以外の言語、英語・日本語で読み書きが出来、更に自ら学ぶことが出来るレベルまでの言語力を身に付けています。

また、日本語を母語とする生徒は中学を卒業するまで現地の日本人学校に在籍していた為、生活言語及び学習言語は学年相応の日本語力を備えており、また母親がインドネシア語を母語し、家庭内ではインドネシア語と日本語を使用する言語環境に育った為、我が校に入学した段階では既に日本語とインドネシア語の2言語を保持していました。

そのため、入学後は英語コースに在籍し高度な英語の獲得に努めるとともに、母語としての日本語の力を更に確実なものとする為に、1年間の海外留学の期間を除き、全ての教科を日本語で指導を受けています。



明德義塾中学校・高等学校

〒785-0195 高知県須崎市浦ノ内下中山 160

TEL : 088-856-1211 (代) FAX : 088-856-3214

HP : www.meitoku-gijuku.ed.jp E-mail : info@meitoku-gijuku.ed.jp